

親子聖書日課

NO.1599 2019.5/19-25 名前

[日]「姦淫とまじないが行われているのに、何が無事か」との言葉は、罪を取り除かない限り、平安はないということです。ヨラムもイザベルも御言葉通り死にます。主を侮っていることに気づいたなら、悔い改めて、主の十字架の赦しを頂きましょう。

[月]「皆殺しのバラード」という題がぴったりの内容です。バアル信仰を一掃するために、アハブ一家を皆殺しにせよとの主の召しをイエフは実行しました。主の召しに応えられるか悩む必要はありません。10節の言葉を信じて行えばよいのです。

[火]イエフは「人の罪には厳しく、自分には甘い」見本でした。バアル礼拝者を根絶したのに、自分は子牛を礼拝しました。他者の罪を責める前に、自分の罪を問い、悔い改めましょう。罪を犯さないだけでなく、善を行うことに熱心になりましょう。

[水]祭司ヨナダがヨアシュを王位につけることができたのは、妻ヨシュバの協力があったからです。彼女はヨアシュをかくまいます。信仰を共にする夫婦が力を合わせて、ダビデ家を救い、復興させます。信仰継承には、夫婦の協力が必要です。

[木]ヨアシュは祭司から教えを受けている間だけ、主の目に適うことを行いました。これでは信仰は自分のものとはいえません。祭司が死ぬと偶像を礼拝します。人頼みの信仰とは縁を切り、一人でも主に従う、自立した信仰者になりましょう。

[金]「ヤロブアムの罪を離れず」と何度も出てきます。この罪は、神が命じた礼拝を守らず、自分の都合のいいように礼拝したことです。礼拝を強制と感じ、行きたい時に行けばよいと思う人は、ヤロブアムの罪を犯します。礼拝を第一にするなら、祝されます。

[土]矢を三度を射てやめた王は、三度しか勝てなかったのでエリシャに怒られました。神の栄光のために戦いの手を緩めてはいけません。主の救いの矢を死ぬまで射続けることです。伝道の働きは、定年がありません。救いの矢を、生涯、放ちましょう。



	聖書	問題	答え
日	列王記下 9:17-37	イザベルの肉は何に食われましたか。	
月	10:1-17	主がアハブの家に対してお告げになった主の言葉はどうですか	
火	10:18-36	イエフはベテルとダンにある何をしりぞけませんでしたか。	
水	11:1-20	ヨアシュをひそかに連れ出したのは、誰でしたか。	
木	12:1-22	ヨアシュは誰の教えを受けて主の目にかなうことを行いましたか。	
金	13:1-13	主の目に悪を行ったイスラエルの王たちは誰の罪から離れませんか	
土	13:14-25	何度と矢を射るべきですか。	
		感想と祈りの課題	